

ウイルス感染を検出してみよう

～カイコの病気をPCR診断～

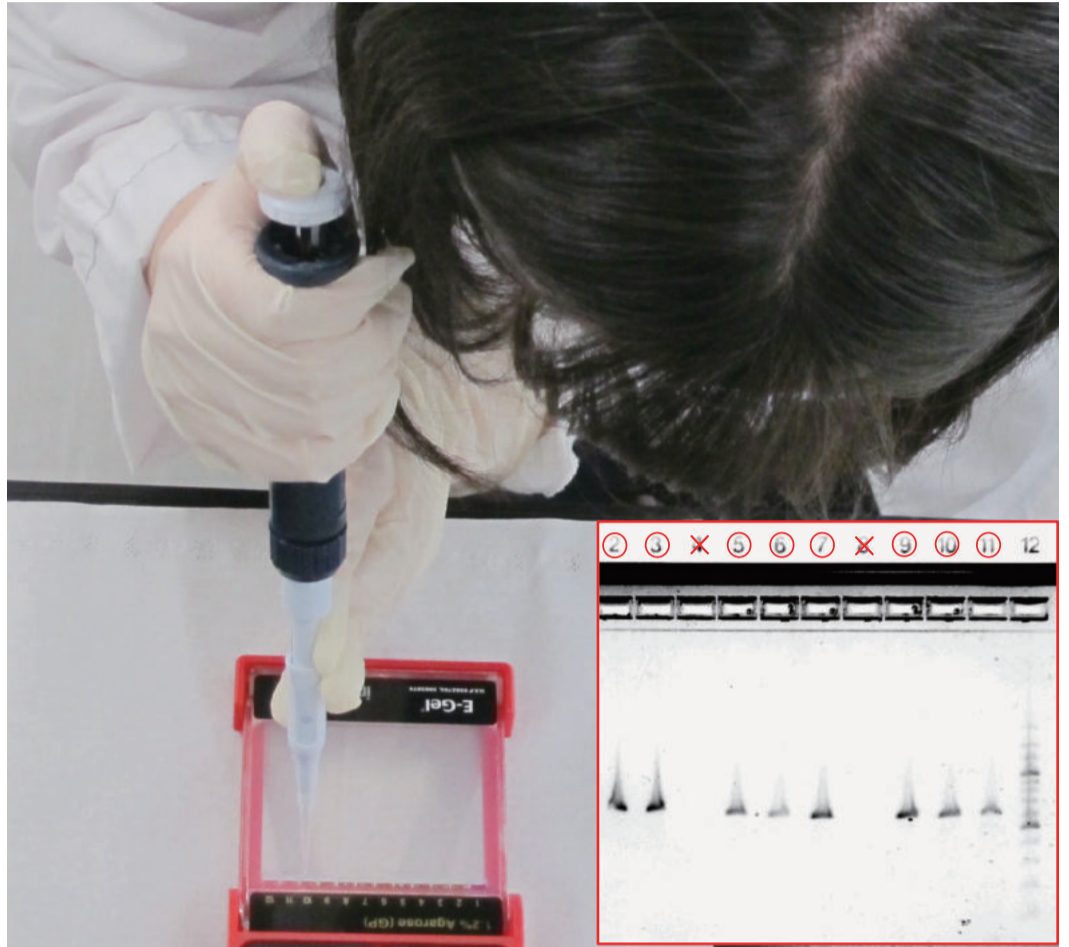
PCR (polymerase chain reaction) 法は, Kary B. Mullis博士 (1993年にノーベル化学賞受賞) によって発明された, 微量のDNAを試験管内で自動的に大量増幅する画期的な技術です。

遺伝学, ゲノム研究, 医療, 農業, 犯罪捜査など幅広い分野で活用されており, 最近では, 新型コロナウイルス感染者の検出に大いに役立っています。

このセミナーでは, カイコとウイルス (カイコ以外の生物には感染しない安全なウイルス) を用いて, PCRの原理と感染診断や昆虫のバイオテクノロジーなどについて, 実験を交えながら学習します。



外見からは健康か病気がわからない感染初期のカイコ幼虫



PCRによるウイルスDNAの検出

日時：令和3年8月6日（金）10:00-15:30（予定）

場所：山口大学農学部講義室・実験室

連絡先：山口大学農学部学務係

電話：083-933-5811

Eメール：aggakmu@yamaguchi-u.ac.jp

申し込み締め切り：令和3年7月30日(金)

高校生の定員は10名です（対象は高校1年生以上で, 各校3名以内とさせていただきます）。加えて, 引率教諭・ご父兄等のご参観も可能です（定員5名）。申し込み書と一緒にご記入ください。定員になり次第締め切らせていただきます。

※新型コロナウイルス感染防止のため, 普段からの体調管理に努めていただくとともに, 少しでも異変がある場合は, 参加をお控えください。また, 開催日及び開催日前日に「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」が発出されている区域からの参加はお控えくださいますようお願いいたします。

申込方法や詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/>



農学部オープンセミナーは, 高校で学習する生物, 化学, 物理などの基礎知識から出発し, 農学部の専門的領域に足を踏み入れる接続授業です。農学部スタッフが講義と実験を指導します。

